

資料室便り

交通専門図書館
交通経済研究所資料室

交通経済研究所資料室で収集・保管している資料をご紹介します。交通に関心のある本誌読者のみなさまの一助となれば幸いです。

新着書棚から（新しく受け入れた資料の紹介）

『EV 推進の罫』

——「脱炭素」政策の嘘——

加藤康子、池田直渡、岡崎五朗著／ワニブックス発行／2021年11月／四六判／333ページ／1,650円（税込）

本書はYouTubeチャンネル『未来ネット』の番組「EV 推進の嘘」を書籍化したもので、加藤氏（元内閣官房参与、産業遺産情報センター長）ほか2名の座談会をもとにしている。EV（電気自動車）推進政策が日本の主要産業である自動車産業、ひいては日本の経済構造に与える影響は多大であり、自動車メーカー各社には動揺が広がっている。なぜ日本の政治家は日本車を守らず、むしろEUや中国の後押しをするのか？ なぜこれまで厳しい環境規制をクリアしてきた日本車の功績をもっと世界にアピールしないのか？ なぜ国際競争力が期待できるe-fuelやバイオ燃料などを使う内燃機関や、ハイブリッド車（HV）、燃料電池車（FCV）を応援しないのか？等々。脱炭素＝EV化、電動化＝EV化の欺瞞性とその背景を討論形式でまとめている。

目次：EVは環境に優しいの嘘／欧州が仕掛けるゲームチェンジの罫／パリ協定の嘘！実現不可能なCO₂削減目標を掲げるのはなぜか？／ほか 原□

『日常生活行動からみる大阪大都市圏』

稲垣稜著／ナカニシヤ出版発行／2021年11月／A5判／238ページ／2,970円（税込）

本書は、地理学の研究者（奈良大学教授）が、大阪大都市圏の都心、郊外および外縁部における日常生活行動の実態と変容について検討したものである。大阪大都市圏は、日本の三大都市圏の中で最も衰退局面にあり、「都心＝就業地、郊外＝居住地」という構造を基本としつつも、郊外は就業地、都心は居住地としての性格を近年高めている。通勤行動と居住・就業の面では、都心の大阪市福島区では2000年代以降人口回復しているが、自宅就業者の減少や都心以外への通勤者の増加という職住分離が進んでおり、通勤が長距離化しているとみられる。また、大阪市都心居住者の買い物行動の面では、全体として難波・心斎橋指向が弱まり、梅田・大阪駅シフトが進んでいる。

目次：大都市圏郊外における中心都市通勤者の減少要因／大都市圏郊外の鉄道駅周辺における居住と通勤の特性／大都市圏外縁部における新旧住民の通勤行動／都心の人口回復と職住関係／大都市圏郊外における買い物行動の縦断分析／都心居住者の買い物行動と都心商業地区／ほか 古森□

新着情報（2021年11月分）

*資料室で入手した主要図書をお伝えします。

記事の構成：書名、編著者名、発行所、発行年月

<和 書>

- 1 旅行年報 2021 日本交通公社 同法人 2021年10月
- 2 JNTO日本の国際観光統計 2020年版 日本政府観光局編 国際観光サービスセンター 2021年11月

- 3 数字が語る旅行業 2021 REGION 編 日本旅行業協会 2021年6月
- 4 ホスピタリティ産業論 飯嶋好彦, 内田彩, ほか 創成社 2021年9月
- 5 インバウンド・ルネッサンス—日本再生 池上重輔編, 早稲田大学インバウンド・ビジネス戦略研究会 日経 BP 2021年11月
- 6 都市・地域交通年報 平成29年版 運輸総合研究所 同法人 2021年11月
- 7 持続可能な開発目標に着目した都市交通政策の実証的分析 秋山孝正, 奥嶋政嗣, ほか 日本交通政策研究会 2021年10月
- 8 新しいモビリティサービスと都市・地域のあり方 高見淳史, 上条陽, ほか 日本交通政策研究会 2021年9月
- 9 地中の星 門井慶喜 新潮社 2021年8月
- 10 京成はなぜ「国内最速」になれたのか—困難の連続からスカイライナー誕生まで 草町義和 交通新聞社 2021年6月
- 11 貨物・旅客地域流動調査 令和元年度 国土交通省編 同省 2021年3月
- 12 鉄道安全解体新書 日本鉄道技術協会総合安全調査研究会監修, 中村英夫編 オーム社 2021年11月
- 13 鉄道の境界問題—国鉄末期の JREA 誌に掲載された論文の復刻版 日本鉄道技術協会編 同法人 2021年11月
- 14 自動車レンタリース年鑑 2021 全国レンタカー協会監修 交通毎日新聞社 2021年
- 15 EV(電気自動車)推進の罫—「脱炭素」政策の嘘 加藤康子, 池田直渡, ほか ワニブックス 2021年11月
- 16 道路法令総覧 令和4年版 道路法令研究会編 ぎょうせい 2021年11月

<外国書>

- 17 Janes Urban Transport Systems 2021-2022 Ankush Singh, Anjali Kumari, ほか編 Jane's Group UK 2021年
- 18 Janes World Railways 2021-2022 Ankush Singh, Anjali Kumari, ほか編 Jane's Group UK 2021年

書庫のなかから (所蔵資料の紹介)

『国鉄5カ年計画』

日本国有鉄道 / 1956年8月

本書は、1957年度から開始された輸送力増強のための国鉄の長期計画を記したものである。第二次世界大戦後の国鉄は、戦時中の酷使と戦災による荒廃から立ち直れないまま、復興に伴う輸送需要の拡大に対応してきた。しかし、旅客、貨物ともに輸送力が逼迫してきたため、改善が求められていた。本書は、そうした実態を伝えた上で、計画の条件・方針・内容を記している。この計画は、第2次5カ年計画(1961年度～)、さらには新長期計画(1965年度～)に引き継がれていく。本号特集に関連した話題としては、これらの計画の遂行を通じて、国鉄の幹線の電化・電車化、および非電化区間のディーゼル化による動力の近代化が達成された。なお、資料室では、このような資料の収集・保管も行っている。 土方□

交通経済研究所資料室のご案内

交通経済研究所では、所蔵資料の一部を公開しています。どうぞご利用ください。

一般財団法人 交通経済研究所 資料室
 住所：東京都台東区上野7-1-1 (〒110-0005)
 電話：03-3841-4165 / FAX：03-3841-4859
 電子メール：Library@itej.or.jp
 ホームページ：https://www.itej.or.jp
 最寄駅：JR/東京メトロ上野駅から徒歩3分



検索ページ

*「蔵書オンライン検索」を公開しています。交通を中心とした図書・雑誌が検索できます。利用したい図書・雑誌がありましたらご相談ください。

担当：土方規義 古森崇史 原祥太 田邊由佳